

県立図書館だより

平成26年6月

青森県立図書館報 第19号

国立国会図書館の 「図書館向けデジタル化資料送信サービス」 の提供ははじめました。

青森県立図書館では、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の提供を**平成26年5月16日（金）**から開始しました。

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」とは

国立国会図書館がデジタル化した約235万点のうち、**絶版等の理由で入手が困難な約131万点の資料**を公共図書館等で閲覧・複写できるサービスです。

このサービスのメリットは、これまで国立国会図書館へ行かないと見られなかった雑誌や図書などを最寄りの公共図書館等で、デジタルデータとして閲覧できることです。

また、当該資料の複写物が必要な場合、引き渡しに要する時間がこれまでの1週間程度から即日になりました。

次ページでは、当館の利用方法をご紹介します。

国立国会図書館
デジタルコレクション
トップページ画面
（国立国会図書館
ホームページ内）



目次

国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の提供ははじめました。……………	1 ～ 3
参考・郷土室からのお知らせ！……………	4
こどものひろば……………	5
ご存知ですか？この資料……………	6
ようこそ文学館へ！……………	7
カウンターからひとこと……………	8

どんな資料があるの？

図書	昭和43年までに受け入れた図書約50万点
雑誌	平成12年までに発行された雑誌（商業出版物を除く） 約67万点
古典籍	貴重書、江戸期・清代以前の和漢書等約2万点
博士論文	平成3～12年までに送付を受けた論文（商業出版物を除く） 約12万点 など

利用方法は？

閲覧する

一般閲覧室に設置している専用端末で閲覧する事ができます。

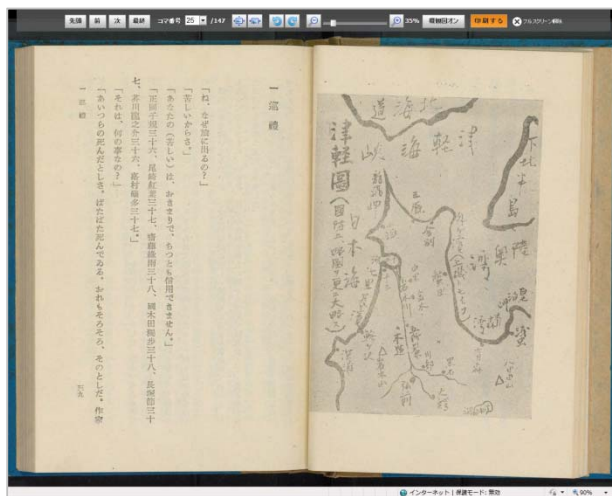
利用者カードをお持ちの方は、一般閲覧室カウンターに提示して申し込んでください。

利用者カードをお持ちでない方は、一般閲覧室カウンターで氏名・電話番号を記入していただくことで利用が可能です。

利用時間は9時から18時30分までで、**1回の利用時間は30分以内**です。ただし、他に利用希望者がいない場合は引き続きご利用できます。



↑ 閲覧席



↑ 太宰治著『津軽』の初版本などを閲覧することができます

利用のワンポイント

まず、ご自宅や当館のインターネット閲覧端末で国立国会図書館のホームページ「**国立国会図書館デジタルコレクション**」(<http://dl.ndl.go.jp/>) から事前にお探しの資料名などを検索します。

検索したとき、資料名の脇に**国立国会図書館／図書館送信限定**と表示されている資料が専用端末で閲覧できますので、資料名などを確認してから申し込んでいただくと効率的に利用できます。

複写する

複写を希望する場合、著作権法の範囲内で行うことができますので、備え付けの「借用資料複写申込書」を職員へ提出してください。

用紙サイズはB 5判～A 3判に対応し、カラー印刷も可能です。複写料金は右のとおりです。

複写料金		
用紙サイズ	B 5～A 3	
色	白黒	カラー
料金	1 0 円	5 0 円

是非、お気軽にご利用ください。

～プチコラム～

県立図書館だよりは、平成20年6月発行の第1号から連載記事を掲載してきました。

今回の県立図書館だよりからは各記事のタイトルをリニューアルしました。

これまでより、県民の皆様に「読んでみたい記事だな」と思ってもらえるように、掲載内容を一新した記事もありますので、ぜひご覧ください。

また、本年4月からは、当館のホームページもトップページのレイアウトを変更しました。

今後も改善を行い、見やすく使いやすくしていきますので、当館のホームページをどうぞご利用ください。



◀当館のホームページ画面コンテンツを整理し、横幅を拡大しています。

参考・郷土室からのお知らせ！

～ データベースを使ってみよう！～



「ラモス瑠偉が、日本に帰化したのは平成元年 11 月 22 日と聞いたけど、本当？」

「田んぼアートといえば、田舎館村が有名だけど、他県でもつくられているよね、どんな絵だろう、見てみたいな。」こんな時、皆さんはどうしますか？

参考・郷土室では、利用者の皆さんの「知りたい。」「調べたい。」というご要望にお応えできるよう、新聞や官報などのデータベースを導入しています。

今回は、その一部を紹介します。もちろん、冒頭の“？”も、調べること、見ることができます。

【新 聞】

東奥日報 (CD-ROM、DVD 版)

平成 17 年 9 月からの記事を月ごとに、キーワード検索することができます。

読売新聞 (「ヨミダス歴史館」)

明治 7 年 11 月の創刊号からの記事検索・閲覧ができます。青森版は平成 11 年 9 月分からです。他にも、読売新聞社が発行している英字新聞『The Japan News』、『現代人名録』もご覧いただけます。

朝日新聞 (「聞蔵Ⅱビジュアル」)

明治 12 年 1 月の創刊号からの記事検索・閲覧ができます。青森版は平成 9 年 1 月からで、『週刊朝日』、『AERA』、『アサヒグラフ』、『知恵蔵』、『人物データベース』、アジアの戦前・戦中写真のデータベース『朝日新聞歴史写真アーカイブ』もご覧いただけます。

毎日新聞 (「毎索」)

明治 5 年 3 月の創刊号からの記事検索・閲覧ができます。青森版は平成 10 年 8 月からで、同社発行の『週刊エコノミスト』や、世論調査のデータベース『毎日ヨロンサーチ』もご覧いただけます。



データベース用パソコン

【法律など】

青森県内自治体例規集 (リンク集)

県内市町村のホームページで公開している規則や条例をご覧いただけます。

官報情報検索サービス

昭和 22 年 5 月 3 日以降の官報を、日付、キーワード検索して閲覧できます。

D1-Law.com (第一法規 法情報総合データベース)

現在使われている法律や、判例、法律や判例に関する雑誌記事を、法律、裁判所名やキーワードから検索・閲覧することができます。

今回紹介した他にも、研究論文、雑誌記事を探すなど、様々なデータベースを利用して皆さんのご相談にお応えしています。是非、ご利用ください。

【レファレンスの申込み及び問い合わせ先】

青森県立図書館 参考・郷土室 電話 017-729-4311 FAX 017-762-1757
電子メール sanko@plib.pref.aomori.lg.jp

こどものひろば



児童図書作家 すずききよはる 鈴木喜代春さん

児童閲覧室では、青森県出身の児童図書作家を取り上げ、その作家を知り、作品に触れていただきたいと、エピソードの紹介や作品・資料などを展示しています。

6月は、児童図書作家、教育者として知られる鈴木喜代春さんを紹介しています。

鈴木喜代春さんは、1925（大正14）年7月9日に光田寺村（現：田舎館村）に生まれました。青森師範学校を卒業後、青森県と千葉県内の小・中学校に38年間勤務し、退職後は創作活動に専念されています。

在職中から書き続けていた児童文学作品や研究書など、170冊を超える鈴木さんの著作の中から、今回は『十三湖のばば』をご紹介します。



青森県出身の児童図書作家たちの展示コーナー

『十三湖のばば』 鈴木喜代春/著 山口晴温/絵 偕成社 1974

この物語は、津軽半島にある十三湖のほとりに生きる「ばば」の物語です。

ばばは、排水不良のため水が腰まで浸かる泥田（腰切り田）で、米づくりをしながら、11人の子どもをもうけます。しかし、泥田の農作業はとても過酷なもので、1人、また1人と、大切な家族を失っていきます。

大正から昭和初期にかけての、津軽の農業、農民たちの「生きる」姿が描かれた作品です。

毎月第4土曜日は

※12、3月をのぞく

科学おはなし会



7月の科学おはなし会（拡大版）

7月26日（土）14:00～15:00

青森県立図書館 4階 集会室 ※事前申込不要

テーマ：「かけっこが速くなるコツ」



スポーツ青い森グループのならおかしんや奈良岡慎哉先生が、速く走るためのコツを教えてください。運動しやすい服装、クツでご参加ください。お父さん、お母さんも一緒にどうぞ。

8月の科学おはなし会

8月23日（土）14:00～14:30

青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー ※事前申込不要

東奥日報の記者さんが、新聞について、おはなししてくれます。





去る 2014 年 3 月、東日本大震災発生から 3 年が経過したことをきっかけに、復興に向けた様々な活動が報じられ、被災地域の人々の力強さや逞しさが印象付けられました。

そこで、このコーナーでは、東日本大震災からの復興支援活動に関わる郷土資料を紹介します。



『東日本大震災 その記録と記憶 平成 23 年 3 月 11 日』

(青森県総務部防災消防課ほか編 青森県総務部生活再建・産業復興局 2013)
被災の状況や復興支援について幅広く、かつ、詳細に記した資料です。

本資料の最も特徴的な点は、**多くの方々からの体験談**が載せられている点です。福島県からの避難者、電気通信事業者、運送業者、学校教員、行政機関職員など、様々な立場から、震災当時の様子や復興に向けた活動が語られます。被災について語られる内容は、私たちに震災の恐怖を想起させます。しかし一方で、復興や未来へ向けた力強いメッセージには希望を感じずにはられません。

『東日本大震災支援活動報告書』

(青森県社会福祉協議会編 青森県社会福祉協議会 2012)

青森県社会福祉協議会による八戸市や三沢市などの被災地域における復興支援活動をまとめた報告書です。

活動の様子がカラー写真付きで時系列にまとめられているため、**現場の視点から見た活動**について知ることができます。



『チーム・オール弘前の一年』

(弘前大学人文学部ボランティアセンター編 弘前大学出版会 2012)

弘前市、弘前大学、市民・団体により結成された「チーム・オール弘前」による岩手県野田村での復興支援・交流活動の記録です。

その名の通り、**弘前市が一丸となり**復興支援・交流活動を行っていく様子が記されています。

青森県立図書館では、青森県に関する資料や青森県内で刊行された資料、青森県在住者・出身者の著作物等を郷土資料として積極的に収集し、永く保存するとともに、県内外の皆様に広くご利用いただいております。

今回取り上げた資料は閲覧・貸出ができます。ぜひ、ご利用ください。

ようこそ文学館へ！

近代文学館資料の紹介(第19回)

青森県近代文学館では、^{みうらてつお}特別展「三浦哲郎」を7月12日（土）から9月7日（日）まで開催します。八戸市出身の三浦哲郎（1931～2010）は、1961(昭和36)年小説「忍ぶ川」で芥川賞を受賞しました。特別展では、与えられた運命を受け入れて、さらに強く生きようとする意志を描き続け、今も熱烈な読者を得ている三浦哲郎の生涯と文学活動を、多くの資料とともに紹介します。

今回展示する資料の中から、文学館所蔵のものを1点御紹介します。

三浦哲郎 原稿「渚の文学館」

（200字詰め原稿用紙5枚 2005年4月）

右の原稿は三浦哲郎が、『全国文学館ガイド』（全国文学館協議会編 小学館 2005年）の青森県近代文学館紹介のために書き下ろしたエッセイの原稿です。

昭和25年、家庭の事情で早稲田大学を休学し、八戸に戻った三浦は、高校時代の恩師の招きで白銀中学校の助教諭となり、英語と体育を教えました。

「私は、土曜日の放課後、近くの海べりに住む村次郎という詩人を訪ねて、いつとき彼の文学談義に耳を傾けるのがならわしであった」

自らの「血の問題」に悩み、そこから逃れる糸口を探るため、「小説のようなもの」を書き始めていた三浦は、八戸の鮫町で割烹旅館石田家を経営していた詩人・^{むらじろう}村次郎（1916～1997）のもとに足しげく通うようになります。

人気の無い浜を一緒に歩き、文学を熱く語る村次郎が、興に乗って渚の濡れた砂に書き付けた四行詩に、三浦は衝撃を受けます。

「マスゲーム／マスゲーム／まちがった少女／まちがった少女」

たった二つの詩句をただ繰り返しているにすぎないのに、間違った少女の姿が悲しいほどくっきり見える。少女の驚き、羞恥、頬の火照り、胸の動悸が、痛いほどはっきりと伝わってくる。——三浦は、この「まちがった少女」に、若くして自死した姉や失踪した兄を重ね、さらには自分自身を重ねたのでした。

村の死後、その詩稿の一部が、青森県近代文学館に収められました。三浦の「渚の文学館」原稿の最後は、当文学館を訪れ、村の筆跡に再会するのを「楽しみにしている」と結ばれています。しかし、この時既に体調を崩していた三浦は、来館を果たすことなく、2010（平成22）年8月29日に帰らぬ人となりました。



カウンターからひとこと(第19回)



県立図書館では、毎年、“**インターンシップ**”の実習生を受け入れています。

インターンシップとは？

インターンシップとは、生徒や学生が将来働くことへの理解を深めるための実習・就業体験のことです。利用者の皆さんも、館内で「実習生」の名札を着けた生徒や学生を見かけたことがあるのではないのでしょうか。

図書館での実習内容は？

平成25年度は、6月から9月までの間に**のべ22日間**、**4校8名の実習生**を受入れました。

実習生は中学生から大学生まで様々ですが、本の貸出・返却処理、書棚の整頓、本を貸出処理できるようにするためのラベル貼り、おすすめの本を紹介する展示など、図書館業務全般を体験してもらいます。



児童閲覧室内のディスプレイを飾るため、実習生が一生懸命作業してくれました。

指導を担当する職員は、仕事に積極的に取り組むことはもちろんのこと、マナーやコミュニケーションの大切さなども伝えられるよう努めています。

短期間で実習生が成長していく様子を目の当たりにして、逆に刺激を受けるなど、職員にとっても貴重な機会となっています。



県立図書館では、本年度も実習生を受け入れます。

利用者の皆さんにご不便をおかけすることがないように、職員が実習生をサポートしていますので、インターンシップにご協力くださるようお願いいたします。